

平成24年行政事業レビューシート (内閣官房)

<b>事業名</b>	原子力災害に対する官邸の対外発信強化のための国際広報強化・充実等経費		<b>担当部局</b>	内閣広報室		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度		<b>担当課室</b>			内閣参事官 加治慶光 内閣参事官 林 幸宏		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>					
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	内閣官房組織令 第3条		<b>関係する計画、通知等</b>					
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	東日本大震災により発生した原子力災害が基となり生じている風評被害(鉱工業品・農水産品の輸出制限、入国者数・留学生の減少、投資リスク等)を克服し、国際社会における我が国の信用を回復させるため、総理・官房長官に直結する首相官邸から、迅速・正確・効果的に海外に対する情報発信を行うための経費。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	<p>原子力災害により生じている風評被害を克服するため、以下の事業を実施。</p> <p>①国際会議等の機会を活用し、各国の有識者・外国メディアに対し、大震災から力強く復興する我が国の姿を正確かつ効果的に伝える。</p> <p>②風評被害が深刻な主要各国から有識者を招へいし大震災から力強く復興する我が国の姿を直に見てもらうことにより、影響力のある第三者を通じて我が国の復興状況を各国及び国際社会に対し発信する。</p> <p>③より効果的かつ戦略的な国際広報のため、実情の捉えにくい海外における風評被害の実態調査を実施。</p> <p>④海外における国際会議の機会を活用し、日本産品の安全性をアピールするとともに、大震災から力強く復興し、世界に貢献していく我が国の姿を発信するためのイベントを実施。</p> <p>⑤総理、官房長官の記者会見において、聴覚障害者への手話通訳及び日英同時通訳を実施するとともに、記者会見の英語仮訳をホームページに掲載。</p>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算			0			
		補正予算			199			
		繰越し等			0			
		計			199			
	執行額			162				
執行率(%)			81%					
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)	
	本事業は、海外における我が国の現状に関する理解の促進という定性的な貢献であるとの性格を有しているため、風評被害の克服への直接的な貢献度を示すのは困難である。		成果実績			-	-	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	①②国際的風評被害の克服を目標としており、1回の出張、招へいにおける貢献度を示すことは困難である。		活動実績 (当初見込み)	-	( )	-	( )	
	③諸外国の「風評被害等の実情調査」等を実施。首相官邸のIT広報戦略に関する調査・提案、震災1周年におけるメディア対応、メディアトレーニング等を実施。		活動実績 (当初見込み)	-	( )	-	( )	
	④国際会議サイドイベント(各国有識者出席者数) ・サマダボス「ジャパンナイト」 約450名 ・ダボス会議「ジャパンナイト」 約600名		活動実績 (当初見込み)	人			1050	( )
	⑤官房長官記者会見等 ・日英同時通訳		活動実績	回			350	( )
<b>単位当たりコスト</b>	④国際会議サイドイベント 37,000円/人		算出根拠	X=39百万円 Y=1,050人(各国各界からのリーダーの参加)				
	⑤官房長官記者会見等 同時通訳57,000円/回		算出根拠	X=20百万円(日英同時通訳経費) Y=350回(日英同時通訳回数)				
<b>平成24・25年度予算 内訳</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由					
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	国際的風評被害の克服は、官民が一体となって初めて実現可能となるものであるが、そこにおける政府の役割は、情報を迅速・正確・効果的に発信し続けることであり、本事業の目的は、政府に期待される役割と一致するものである。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	各事業については、契約後もコストを押さえ最大の効果を出すべく努力している。例えば、国際会議でのイベント事業については、省庁間の連携により、イベントで出す食品等、およびイベントで流す映像の素材について無償提供を受けている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	国際的風評被害の克服のためには、様々な広報手法を戦略的に組み合わせた国際社会への発信が肝要であり、広報手法同士を比較し優劣を付けるのは適切ではない。目標である風評被害の克服については、着実に進捗しており、活動実績は十分見込みに見合ったものである。有識者招へい事業について外務省による事業と類似していると考えられるが、首相官邸による招へい事業では、より影響力が大きく、官邸政務レベルを含めた日本側のハイレベルとのアポイントを入れる等の役割分担を行った。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	各側面から点検した結果、本事業は適切に企画・実施されていると言える。引き続き競争性の確保とコスト削減の努力は行っていく必要があるが、風評被害の克服とその先の日本ブランドの再構築は政府の重要課題の一つであり、今後とも積極的に推進していく必要がある。広報施策が対象としているのは日本のプレゼンス、イメージ、理解等の向上であり、抽象的なものであるためその評価は非常に難しいが、その効果については、できる限りわかりやすい説明を心がけ、国民の理解を得ていく努力が必要である。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	事業効果の検証を的確に行うべき。(23年度限りの経費)		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	予算監視・効率化チームの所見を踏まえ、事業効果の検証を的確に実施していきたい。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	-

※平成23年度実績を記入

内閣官房  
162百万円

〔 随意契約 〕

A.(株)乃村工藝社外1社  
39百万円

〔 ダボス会議ジャパン  
ナイトの企画・運営等支  
援 〕

〔 総合評価 〕

B.(株)クリアブ・ギャビン・ア  
ンダーソン  
39百万円

〔 東日本大震災による  
風評被害等の実情、  
効果的な広報の調  
査・分析 〕

〔 一般競争入札 〕

C.(株)放送サービスセン  
ター外5社 73百万円

〔 同時通訳運用業務 〕

〔 随意契約 〕

D.(社)国際交流サービス  
協会 2百万円

〔 国際視察エスコート  
等 〕

〔 直接 〕

E.事務費  
8百万円

〔 職員の旅費等 〕

**資金の流れ**  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する)(単  
位:百万円)

A.(株)乃村工藝社			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
イベント費	ダボス会議ジャパンナイトの企画・運営等支援	32			
計		32	計		0
B.(株)クレアブ・ギャビン・アンダーソン			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
レポート作成	メッセージ案の作成、報道ぶりの分析、レポート作成等	14			
分析費	ソーシャルメディア・日本ブランドの分析	25			
計		39	計		0
C.(株)放送サービスセンター			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
購入費	同時通訳機材購入費	6			
運用費	同時通訳システム運用費	15			
計		21	計		0
D.(社)国際交流サービス協会			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
通訳料	エスコート代等	2			
車両費	自動車借り上げ代	0			
計		2	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)乃村工藝社	ダボス会議ジャパンナイトの企画・運営等支援	32	3	—
2	(株)JTBコミュニケーションズ	サマーダボス・ジャパンナイトの運営等支援	7	5	—

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)クレアブ・ギャビン・アンダーソン	東日本大震災による風評被害等の実情、効果的な広報の調査・分析	39	2	—

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)放送サービスセンター	同時通訳システム購入及び運用	21	2	—
2	A社	対外情報発信サポート等サービス(8月～3月)	20	随意契約	—
3	(株)サイマル・インターナショナル	日英同時通訳業務(8月～1月)	13	5	—
4	B社	手話通訳等業務(8月～3月)	9	随意契約	—
5	(株)レオズ・インターナショナル	日英同時通訳業務(1月～3月)	7	2	—
6	C社	対外情報発信サポート等サービス(8月～3月)	3	随意契約	—

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)国際交流サービス協会	国際的風評被害対策有識者招へい事業に係る視察エスコート等	2	随意契約	—